

※本プログラムは「いわき市令和6年度ゼロカーボン人づくり公民連携事業」です。

## 脱炭素まちづくりカレッジ in いわき開催のお知らせ

### 全国各地で実施しているイベントが昨年に引き続きいわき市で開催。

脱炭素まちづくりカレッジとは、気候危機や脱炭素の基礎知識を身につけ、持続可能なまちづくりや地域づくりについて学ぶことができるカードゲーム型プログラムです。

カーボンニュートラル、カーボンゼロ、気候変動、気候危機、地球温暖化、脱炭素、SDGs、などに興味関心がある方々におすすめです。

1. 2030年カーボンハーフを目指すシミュレーションゲームを体験する。
2. 気候危機や脱炭素の基礎知識を身につける。
3. 個人の排出量の見える化と振り返り、「移動」「住居」「食」などの様々な領域での排出量を削減するためのプロジェクトを企画・具体化するデザインワークを行う。

#### == こんな方におすすめ！ ==

- 気候危機や脱炭素は色々ところで聞くけど、正直あまり良く分かっていない
- 気候変動対策や脱炭素の取り組みに興味はあるけど、なんだか難しそう
- 具体的な脱炭素アクションを何から始めればいいのか学びたい
- 学校教育や企業研修、自治体イベントなどで、学んでもらえるプログラムを実施したい

#### == 主な実施団体等 ==

群馬県庁、石川県庁、兵庫県神戸市、島根県益田市、福島県会津美里町、和歌山県かつらぎ町  
沖縄科学技術大学院大学、鹿児島県立鹿屋工業高校、愛知県立半田商業高等学校  
株式会社群馬銀行、株式会社竹中工務店、福島県中小企業家同友会いわき支部

#### == 開催概要 ==

【日時】 12月22日(日曜日) 13時より16時まで(受付開始:12時30分)

【場所】 中央台公民館 大会議室 (いわき市中央台飯野4丁目5-1)

【定員】 20名(先着順:親子・学生の参加大歓迎)

【参加費】 無料

【参加方法】 事前予約制、予約なしの参加はできません。

【申込期限】 12月15日 17時まで

【注意事項】

- 遅刻、早退の方は参加できません。
- 当日の様子は撮影(動画、写真)を行い、今後の報告用として使用しますので予めご了承ください。

【お問い合わせ先】

SDGs 導入推進コンサルタント 大内政雄(本ゲーム公認ファシリテーター)

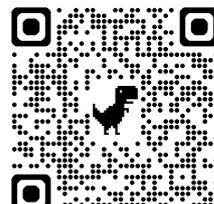
☎:090-4043-7302 FAX 番号: 0246-88-6122 ✉:ohuchi.masao@gmail.com

【申込はこちら】

【脱炭素まちづくりカレッジの紹介】

<https://forms.gle/ntUkNa98JkAAxHH7>

<https://issueplusdesign.jp/climatechange/college/about/>



参加  
無料

## 脱炭素まちづくりカレッジ 開催決定！

カードゲーム型ワークショップで学ぶ気候危機時代の持続可能なまちづくり

地域の脱炭素化を推進するための  
取り組みやパートナーシップを学ぶ  
カードゲーム型プログラム



公認ファシリテーター  
大内政雄

### 【ゲームのPoint】

1. 気候危機や脱炭素の基礎知識を身に付ける
2. 2030年までのシミュレーションゲーム
3. 個人の排出量の見える化と振り返り

まちづくりを中心にした脱炭素の基本から実践までをコンパクトに学びます。

### 【こんな方におすすめです】

- ・ 気候危機、温暖化、脱炭素、カーボンニュートラルに興味関心があり、基本から学びたい全ての方
- ・ 地域やまちの脱炭素を進めたい自治体、ソーシャルセクター職員、都市計画・まちづくり関連企業の方
- ・ 自分の企業や団体の脱炭素化を進めたい環境・サステナビリティ推進担当の方

日時

2024年12月22日(日曜)13時～16時(受付12時30分～)

場所

中央台公民館大会議室 (いわき市中央台飯野4丁目5-1)

定員

20名(先着順、親子・学生の参加大歓迎)

注意点

ゲームの様子は写真撮影を行い、SNS等で発信いたします。

申込み

事前予約制・先着順

【申込はこちら】

お問合せ

✉ohuchi.masao@gmail.com  
FAX. 0246-88-6122



業務委託先:株式会社リビングソーラー



## 未来体験

# 脱炭素まちづくり PLAY!

行政、金融機関、民間企業などの地域プレイヤーとして、2030年までに地域全体の温室効果ガス排出量の半減に向けて様々なプロジェクト実施にチャレンジするシミュレーションゲーム

### ゲームの6つのポイント

1. 農家、電力会社、行政などの20種類のプレイヤーの中から、1つの役を演じます。
2. 2030年までに、地域全体の排出量の半減と自分の目標の達成を目指すゴールです。
3. ゴール達成に向けて、様々な脱炭素プロジェクトを実施します。
4. プロジェクトの中には、大幅削減につながるもの、逆に増えてしまうもの（トラップ）もあります。
5. プロジェクト実施に向けて、他のプレイヤーとお金やパートナー、情報を交換し、協働が大切です。
6. 排出量の状況に応じて、地域には「大規模災害」「食糧危機」「感染爆発」など、気候変動による負の影響が生じることもあります。

### 2030年に向けて、対話と協働により、 排出量半減を目指して各種プロジェクトを実践



実行プロジェクトに応じて3つのメーターがリアルタイムに変化



ゲーム開始時：100